

令和4年2月24日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）産業教育の一層の推進について

県立の専門学校へのデジタル化に対応した産業教育設備の整備に併せ、これまでどのような指導者教育をしてきたのか、また、今後の指導者育成の方針とそのプロセスについて、教育長に伺う。

さらに、産業界から求められる専門高校生の資質と能力の育成に向け、新たなカリキュラムを開発中と聞いているが、こういった内容のものを、いつまでに全県展開していくつもりか、併せて教育長に伺う。

（答）

デジタル化に対応した産業教育につきましては、Society 5.0時代の変化の激しい時代に柔軟に対応できる生徒の育成を目指し、カリキュラムの編成・実施、デジタル機器の整備、教員の資質向上の3つの取組を一体的に進めております。

デジタル化に対応した教員の資質の向上につきましては、今年度、県立工業高等学校の教員延べ60人程度を対象に、先端技術を有する企業や大学、研究所等の専門家を講師とする研修会を3回開催し、

- ・ 3Dプリンターの活用などのデジタル機器活用の実演を通じた知識・技術の習得やその機器を活用した指導力の向上
- ・ 企業が求める人材像や人材育成方法等について意見交換による進路指導の充実

を図ったところでございます。

今後の教員の育成方針につきましては、企業が求める人材像を踏まえ、デジタル社会において必要な情報活用能力や創造力等の資質・能力を生徒に身に付けさせることができる教員の育成を目指してまいります。

この方針の今後の実施に向けたプロセスにつきましては、引き続き、企業や大学等から講師を招聘し、教員の技術・技能の向上を図るとともに、獲得した技術・技能を教員間で共有できるよう、ネットワークの構築に着手してまいります。

また、専門高校生に求められる資質・能力の育成に向け、ものづくりの魅力を感じさせるとともに、新たな価値を創造する力を育成するため、生徒が自ら本質的な「問い」を設定し、追及するプロジェクト型学習の要素を取り

入れた工業探究プログラムを開発しております。

その開発につきましては、今年度第1学年分を作成・実施したところであり、今後、年次進行で開発を進め、開発した成果物等につきましては順次公開し、令和5年度を完成年度として全県に展開することとしております。

教育委員会といたしましては、引き続き、社会構造や雇用環境の変化等を見据え、企業や高等教育機関等との連携を更に深めながら、カリキュラムを開発・実践し、教員の資質を向上することにより、ものづくり教育の一層の推進に取り組んでまいります。